

第87号

行田市自治会連合会
広報部会

編集・発行

自治連だより

令和2年度

花いっぱい推進運動活動報告

本年度をもって、行田市コミュニティ協議会が解散し、花いっぱい推進運動については行田市自治会連合会が継承することになりました。

花いっぱい推進運動は、花を植えて景観を美しくするだけではなく、地域活動の活性化・明るいまちづくりに貢献できると思います。

花いっぱい推進運動が市内各地区で実施される中、北河原地区では11月8日(日)、公民館を中心に小学校の花壇、プランターにパンジーなどの苗を植え付けました。

当日は自治会・子ども会・保護者の皆様にご参加いただき、子ども達と高齢者が一緒に作業をしました。その様子を見て、保護者の方々にも笑みが浮かんでおりました。

今年度は多くのイベントが中止となり、子ども達と花いっぱい推進運動に参加できて楽しかったという声も聞こえま

した。

終了後には「さかせようみんなの夢ときれいな花」のキャッチコピーの看板を立てました。

また、花の苗を配り家の花壇に植えてもらいました。

この運動が長く継続できるように皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

北河原地区連合会長

鈴木 栄三



北河原地区の様子



須加地区の様子



南河原地区の様子

単位自治会の合併について

自治会は一定地域に住む人々が住みよき豊かなまちづくりを目指す自主的任意団体です。各自治会において、歴史的背景や宅地開発などの地域事情もあり、単位自治会規模に大きなばらつきがあります。

なかでも小規模自治会では、各種役員の手不足による役員の高齢化、祭り等の地域交流の場が提供できないなどの事例も発生しており、自治会合併の必要性が増しております。

合併することにより、役員の手不足の解消や新たな地域交流の場の提供、会員増による収益増加で事業が拡大されるなどのメリットが期待できます。

一方、合併の際に集会所の整備や残余財産の精算などの問題が生まれることも想定されます。

その中でも残余財産については会員相互の理解を得ることが大変重要と考えます。

また、他県や他市で実施している「合併に対する補助制度」を行田市にも要請したいと思っております。

住民と行政が一体となり、前向きに論議し、今後の少子高齢化社会に向け、準備をしていきたいと考えます。

総務部会長
栗原 三郎

まちづくり元気創出事業

行田市自治会連合会では、地域の課題を自らの手で解決し、自治意識の高揚を図るため「まちづくり元気創出事業」を実施しています。

今年度については、一般の新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、事業実施について議論を重ね、その結果、昨年度と同様に「防災をテーマとする事業」を実施することといたしました。

コロナ禍にも負けない活発な自治会活動から、まちを元気にしていくため、そして行田市における「自助」「共助」の力を高めるために、本掲載内容を参考としていただくとともに、今後の本事業へのご協力をお願いいたします。また、今号では星宮地区と長野地区の様子を紹介します。

星宮地区防災訓練実施計画
今年度、行田市では台風などによる大規模な風水害は発生しませんが、今後30年以内に首都直下型地震や南海トラフ地震による被害が70

%の確率で起こることが予想されています。

以上を踏まえて星宮地区では、まちづくり元気創出事業として、「我が家の耐震診断・耐震改修」や建物倒壊に伴う人命救助等の重要性を考慮していただくために、市関係各所協力のもと、防災講座及び訓練を実施することといたしました。

特に今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から三密を避けることに重点をおき、次のおり実施計画を策定いたしました。

日時 緊急事態宣言発令により未定

場所 星宮公民館ホール、駐車場

主催 星宮地区自治会連合会
星宮公民館

参加者 自治会長及び役員
公民館職員及び関係団体

内容 ※会場の都合上30名に限定
講座60分(資料やDVDを活用した講演)

水消火器による消火訓練、AEDによる救命訓練、避難所に設置す

る新型コロナウイルス感染症対策用防災テントの設置訓練、簡易トイレの設置訓練など

以上が今年の訓練内容です。また、昨年は地区の皆さんの協力により実施した炊き出し訓練など、飛沫感染のリスクが高い訓練については中止といたしました。

今後は、地震や地球温暖化による異常気象から局地的な集中豪雨が全国的に発生している現状を踏まえて、防災対策の重要性が増していくことが考えられます。

今年度は防災訓練の開催も危ぶまれる状況ですが、人命を守るために地域住民の皆さんの意見を取り入れながら取り組みたいと思えます。

星宮地区連合会長
羽鳥 嗣郎



事前の訓練用備品確認にて

長野地区防災訓練実施計画

今年度も昨年度に引き続き行田市自治会連合会の重点施策「まちづくり元気創出事業」の一環として、防災事業を地区別に取り組むことになりました。

昨年度は台風19号の豪雨による市内浸水被害等もあり、水を主に「県の出前講座・炊き出し訓練」等を多くの会員参加のもと実施いたしました。

今年度は、長野地区自治会連合会主催に加え民生委員、長野・桜ヶ丘両公民館協賛で、長野公民館に於いて、参加者を昨年度より半数以下に抑え防災訓練を実施することといたしました。

また、災害発生時は即避難所となる地区内の小中学校及び両公民館の建屋責任者にも訓練に出席していただき、情報の共有・地域とのコミュニケーションを図りたいと考えております。

いまだに新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中での訓練であることから、災害時の避難所にテーマを絞り、避難所での日々の生活と「男女共同参画」を配慮した出前講座を行います。また、市内避難所へ配備す

るワンタッチパーティション組立、収納訓練も合わせて行う計画で防災安全課へ依頼いたします。

そして地区内の共助を目的としたボランティア活動に關し、社会福祉協議会より講師を招き、説明していただきます。

今年度については、現在に於いても訓練の実施が危ぶまれるところですが、常に災害を想定した防災意識の向上を図り、被害軽減を目的とした防災訓練の継続が最も重要であると考えます。

長野地区連合会長
横田 範博



長野地区防災連絡会メンバー集合写真

災害に備えて

昨年来、世界規模で新型コロナウイルスが蔓延しており、災害が発生した場合、避難が心配になります。

災害には、地震・風水害火・山噴火など様々なものがあり、災害の種類によつての対応方法や備えが必要となり、想定外の災害や不足の事態にも対応できるような心構えが大切です。

防災の基本は自分の身は自分で守ることであり、非常時には、正確な情報の把握と情報を地域で共有すること、その時点での適切な対応をとることが必要です。

また、次のことを意識して、災害に備えましょう。

■地域での自治会など、組織として災害時に動ける仕組みづくり

災害時には市からの避難情報などが流れますが、全ての人情報が得ることは極めて困難です。自治会ではその際の対応や情報伝達（自主防災組織の連絡網等）の仕組みを

マニュアル化しておくことが重要です。

■自治会内防災マップの作成

■自治会と他の団体との連携
自治会だけで対応できない場合も、市役所など他団体との連携が防災力を高めることに繋がります。

■私たちが防災発生に備えること

●緊急のもの（地震など）
自分の身は自分で守るという心構え。危険が迫っているときは避難を優先する。

●被害が予想される場合
台風の接近など近々に危険が予想される場合、TVやラジオ、インターネットで情報を得て対応。避難に備え持ち出し品の確認、近所への声かけなど。

●不測の事態（電気、ガス、水道、電話などの停止）が発生した場合は落ち着いて被害状況をみて対応、復旧の見込みなど情報を確認し、近所同士で情報共有し自治会に連絡、自治会は必要に応じ避難や待機場所の確保をする。

■避難

●市から避難勧告や避難指示が発令された場合、自治会の支持、危険を感じた場合は事前に用意した必要なものを持って決められた避難場所や避難所へ避難する。

●日頃、家庭内で避難場所・経路及び緊急時の集合場所の確認、家族の安否確認方法を確立しておく。

●避難にあたって要介護者、高齢者、ペットに配慮する。

●車での避難は道路混雑や緊急車両通行の妨げにもなるので、避難は徒歩で落ち着いて避難場所や避難所へ避難する。（水害が予想される場合
自家用車は事前避難）

以上のこと気をつけて災害に強いまちづくりを目指していきましょう。

佐間地区連合会長
長岡 幸雄



東日本大震災2～3日前の地震雲の様子

エコなくらし 「財布と地球にやさしくかつ安全なエコドライブ」

エコドライブを推進するエコドライブ普及連絡会（国土交通省・警察庁・経済産業省・環境省）が取りまとめたエコドライブ10の宣言があります。

詳しくはエコドライブで検索して挑戦してみませんか！！
広報部会委員
岩永 照夫

- 1 ふんわりアクセル！！
- 2 車間距離をとり、加減速の少ない運転！！
- 3 減速時は早めにアクセルをはなそう！！
- 4 エアコンの使用は適切に！！
- 5 無駄なアイドリングはやめよう！！
- 6 渋滞を避け、余裕をもって出発！！
- 7 タイヤの空気圧は適正に！！
- 8 不要な荷物はおろそう！！
- 9 走行の妨げになる駐車をやめよう！！
- 10 自分の燃費を把握しよう！！
この宣言をできるだけだけ実行する事によりCO2削減・燃費向上・交通事故率減少になり一石三鳥です。

秋にハイブリッド車で日光からの帰路である「いろは坂」を下った時の燃費が、なんと【100km/L】でした。



県推奨の車用ステッカー



安全運転推進協会ロゴ

自治会に関するQ&A

Q1自治会に加入するメリットはなんですか。



A自治会では、地域環境の維持や災害対策、防犯啓発など様々な課題に対して取り組んでおり、加入することで次にあるような様々なメリットがあります。

○近隣住民との交流

自治会で開催している夏祭りなどの行事に参加することで、たくさんの方々と交流することができ、緊急時などに、より助け合えるような絆を深めることができます。

○市政等行政に関する回覧

毎月、自治会の回覧によって行政からのお知らせや地域の情報、暮らしに関わる重要な情報をいち早く入手することができま。

○安心安全な地域づくり

地域住民間でのつながりが希薄化していく中で、自治会

では防犯パトロールや小学生の登下校見守りボランティアなど様々な形で住みよい、安心安全な地域を作ることができます。

Q2長年住んでいる世帯と転入世帯では自治会に対する考え方が違います。どのように対応すればよいでしょうか。



A別の地域から転入してきた方と、その地域で長らく生活している方では様々な点で違いが生じてくるのもごく自然なことです。大切なのは、それぞれの意見に対して否定的な見解を持つのではなく、それぞれの意見をしっかりと受け止めることで、自治会の運営をより良い方向で転換していきましょう。

Q3自治会費はどういったことに使われていますか。



A各自治会の活動については様々ですが、地域のイベント（夏祭りなど）や防災・防犯活動、防犯灯の維持費やごみ置き場の維持管理費などに対して主に使用されています。

Q4加入中の自治会と近隣の自治会では自治会費が異なっています。自治会費についてはなにか決まりがあるのでしょうか。



A自治会費については決まりがなく各自治会の基準に基づいて会則などで定めていることがほとんどです。

Q5行田市にはいくつの自治会がありますか。



A行田市では現在、15の地区（忍・行田・佐間・持田・星河・長野・荒木・須加・北河原・下忍・太井・埼玉・星宮・太田・南河原）へ分類されており、その中に185の自治会が存在します。

Q6仕事の都合上短期間で転出してしまおうのですが、自治会に加入しないといけないのでしょうか。



A自治会では、防犯灯やごみ置き場の維持管理などを行っていることから、短期間であってもこのようなサービスを受けることになりま。自治会への加入をお願いいたします。

編集後記

新型コロナウイルス感染症予防及び拡大防止対策のため各自治会・自治会連合会の活動が中止や縮小され、「自治連だより」の編集に苦慮した二年でした。

今回の感染拡大は東京一極集中、グローバル化など合理化された人とモノの流れが逆手に取られたといえます。順手でワクチンや特効薬が流れれば一件落着となるのでしょうか。人もまちも再生、再出発できる社会となつてくれることを願うばかりです。

合理性だけではなくまちづくりにはゆとりや多少のムダも必要だと思ひます。例えば公園づくりなどでは全体のほんの少しですが近頃はその土地に合った植生の林や湿地、雑木林を復元するエリアが設けられています。一見ムダ・非合理的ようですが生物相は豊かになり、ゆとりを感じる事ができます。

近頃は民生委員や自治会長などをやって下さる方を探すのが大変と聞きます。人生の一時、そんな経験があつても良いのではないのでしょうか。

広報部会員
橋本 恭一